

# 平成30年度青森県公社等経営評価書

(平成29年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)				
6	(公財)青森県フェリー埠頭公社							
所管課名	県土整備部港湾空港課							
決算状況 (単位:千円、%)								
出資	資本金	県出資額	県出資比率					
	20,000	20,000	100.0					
決算	前期一般正味財産増減額	当期一般正味財産増減額	一般正味財産期末残高					
	59,098	68,874	4,931,456					
資産	資産	負債	正味財産					
	5,578,976	627,520	4,951,456					
財務分析指標				上記についての所管課の意見・評価				
正味財産比率	経常比率	総資産当期経常増減率	県財政関与率	補助金収入率	【目的適合性】			◎
88.75	114.24	1.25	0.15	0.00	フェリーは、公共交通の確保というだけでなく、働き方改革等に伴う輸送手段としての需要も増加してきていることから、今後も利用者ニーズに即した取組を進めること。			
受託等収入率	管理費比率	人件費比率	流動比率	借入金比率	【計画性】			◎
0.00	8.09	16.82	565.37	5.90	PDCAサイクルにより業務管理を円滑に進めることで、引き続き経営改善に取組むこと。			
経営評価結果				【組織運営の健全性】				◎
評価区分	A:概ね良好			引き続き組織の適正運営に努めること。				
<p>&lt;財務状況&gt; 財務の状況については、安定的に黒字を確保していることは評価できる。過去の施設取得等に要する費用に係る借入があるものの、着実に償還しており、経営上問題がないと認められる。</p> <p>&lt;経営状況&gt; 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、おおむね妥当なものと認められる。</p> <p>&lt;留意事項&gt; 多額のコストが見込まれるフェリー埠頭等の施設の維持管理及び借入金の償還については、収支バランスを図りながら適切にマネジメントしていただきたい。 また、フェリー埠頭は、自然災害発生時には平常時以上に極めて重要な役割を果たすことが求められることから、BCP(事業継続計画)の継続的な見直しや訓練の実施に努めていただきたい。</p>				【経営の効率性】				◎
				人的資源の有効活用を図るとともに、引き続き経費節減を図ること。				
				【財務状況の健全性】				◎
				財務状況は概ね健全で特段の問題はないことから、引き続き堅実な経営を進めること。				